

意見発表

山梨県知事

横内正明

全国高速道路建設協議会会長



ご紹介をいただきまして、全高速の会長としてお喜び申し上げます。その役割が再認識されたことでもあります。今後、三連動地震とか首都圏直下型地震といったものが想定される中で、国民の生命・財産を守るためにも、早期にこのミッシングリンクを解消してネットワークを完成

算の概算要求におきまして、国土交通省では、全国のミッシングリンクの整備に3,731億円、大都市圏環状道路の整備に1,269億円を要求しております。この中には日本再生重点化の分も含まれているわけであり、整備しつかりと確保していただくことを国会議員の先生方にお願ひ申し上げます。もう一つ、これは余り気がつかれていないことですが、山梨県におきましても、中部横断自動車道というのを今つくっているわけですが、今つくっているわけですが、この整備の手続といましまし、スキームというものが非常にうまくいって、動かない状態になっているというところがございます。ちょっとわかりにくいかもしれませんが、全国各地で高速道路の基本計画区間を整備計画区間へ格上げをするとか、あるいは整備計画を変更するというような要望

ただいまご紹介いただきまして、和歌山県那智勝浦町の寺本でございます。私どもの町は観光地なので、本町の宣伝をしたいところですが、時間の関係で割愛させていただきます。

9月4日に紀伊半島を中心に深い傷跡を残した台風12号災害から、間もなく3カ月を迎えようとしています。

現場の部署に早急に設置していただきましたことに心よりお礼を申し上げます。このように、地方は行車の中、職員の削減等いろいろと頑張ってきて、こういう大きな有事の場合にはなかなかその手配もできません。そういった中、国の方でも出先機関の専門職員を適宜配置いただきました。このようなときには即座に対応できる体制をとっていただきたいと思っております。また、ミッシングリンクの解消していただくためには、道路の崩落、土砂崩れにより1カ月以上たわたり通行不能でありました。もう一本は、和歌山県、三重県の海岸線を走っている国道42号線でございます。この国道についても通行できない箇所が多数発生しました。しかしながら、早い段階で復旧し、通行ができましたので、自衛隊の災害派遣や支援物資の輸送を受け

意見発表

久保田后子

山口県宇部市長



ご紹介いただきました、山口県の宇部市長の久保田后子と申します。よろしくお願ひ申し上げます。安全・安心の道づくりの意見を申し上げます。ちよっと本市の紹介をさせていただきます。前の関係セクターの連携、

持時間は3分でございます。手短かに申し上げます。山口県宇部市は、石炭を資源に発展してまいりまして、この90年を振り返ると、戦中戦後、戦後復興でははいじん降の注ぐ町ということで激甚公害に見舞われました。そういう中で、産官学民の連携という今日では当たり前の関係セクターの連携、

整備の促進・強化をしていかなければならないし、あわせて、災害になった時、特に中山間地域では集落が孤立する状態がよく見受けられることを考えますと、里山の道、こういったところも一定の整備が必要だと考えております。

2点目は、地球温暖化防止、また少子高齢社会への対応という観点から、人にもやさしい、子供、障害者、高齢者、また自転車等、こういった人々の暮らしにやさしい道路づくり。道路は、既にかくさんのご提案が出ていますので、安全・安心の道づくりについて3点意見を申し上げます。

まず1点は、もとの災害に強い道づくりです。これについては、皆さん本場に一緒だと思っておりますが、地方の整備は大変おくれしております。これを改めて、防災・減災の観点から、災害に強い道路づくりとしての

安全・安心の道づくりを求め、全国大会のご盛會を心よりお喜び申し上げます。日ごろより安全・安心の道づくりの実現のためご尽力されておられます皆様方に対しまして心から敬意を表するものであります。

東日本大震災において、道路は、震災直後の住民の避難場所として、内陸市街地への瓦礫の流入を抑制する防潮堤として、復旧のための物資輸送路として、また歩行者と自転車の事故対策として、道路利用者が安全・安心に通行できるように取

意見発表

和歌山県那智勝浦町長

寺本眞一



ご紹介をいただきまして、和歌山県那智勝浦町の寺本でございます。私どもの町は観光地なので、本町の宣伝をしたいところですが、時間の関係で割愛させていただきます。

9月4日に紀伊半島を中心に深い傷跡を残した台風12号災害から、間もなく3カ月を迎えようとしています。

現場の部署に早急に設置していただきましたことに心よりお礼を申し上げます。このように、地方は行車の中、職員の削減等いろいろと頑張ってきて、こういう大きな有事の場合にはなかなかその手配もできません。そういった中、国の方でも出先機関の専門職員を適宜配置いただきました。このようなときには即座に対応できる体制をとっていただきたいと思っております。また、ミッシングリンクの解消していただくためには、道路の崩落、土砂崩れにより1カ月以上たわたり通行不能でありました。もう一本は、和歌山県、三重県の海岸線を走っている国道42号線でございます。この国道についても通行できない箇所が多数発生しました。しかしながら、早い段階で復旧し、通行ができましたので、自衛隊の災害派遣や支援物資の輸送を受け

来賓メッセージ

伴野豊

衆議院国土交通委員長

安全・安心の道づくりを求め、全国大会のご盛會を心よりお喜び申し上げます。日ごろより安全・安心の道づくりの実現のためご尽力されておられます皆様方に対しまして心から敬意を表するものであります。

東日本大震災において、道路は、震災直後の住民の避難場所として、内陸市街地への瓦礫の流入を抑制する防潮堤として、復旧のための物資輸送路として、また歩行者と自転車の事故対策として、道路利用者が安全・安心に通行できるように取